

グリーンツーリズム拠点整備計画

「蔵inガルテン川越」



2020年(平成32年)度オープンに向けて、伊佐沼周辺に位置する農業ふれあいセンター、伊佐沼農産物直売所、伊佐沼公園、周辺の農園等と連携し、面的なにぎわいを創出します。(詳細は報告会にて)

コンセプトは、「川越を楽しむ農と食の体験パーク」です。川越で暮らす人、川越を訪れる人にも「農のあるまち川越」を体験してもらおうというものです。

グリーンツーリズムとは、「農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」とされています。

本来の「クラインガルテン」とは、ドイツで盛んな「滞在型市民農園」制度で、小屋付きの農園スペースを長期で借り、プチ田舎暮らしを楽しむ施設です。(詳細はグリーنز川越46号参照)

「蔵inガルテン川越」は本来のクラインガルテンとは異なりますが、大変魅力的な施設です。整備費は概算で約6億7千万円、経済効果は約5億3800万円と試算されています。

埼玉県最大、関東でも2番目に大きい自然沼である伊佐沼一帯が面として整備されることで、旧市街地からの回遊や川越の体験型観光「ニューツーリズム」をここから広げたいと思います。



小中学校にあるブロック塀の対応経過報告

(7月20日報告)

点検調査の結果、6月26日から撤去を進めている小中学校のブロック塀について、7月17日時点の経過報告です。緊急性の高いものから優先順位をつけ撤去が進められており、小学校は撤去が必要な27校中11校が撤去済みで、残り14校。中学校は6校中2校撤去で残り4校となっています。

民間教育施設・保育施設にあるブロック塀の緊急調査報告

(7月4日報告)

調査対象は市内幼稚園、認定こども園、民間保育所、地域型保育事業所の計89施設。

- ① ブロック塀がある施設 41施設 ② 建築基準法に違反するブロック塀の高さが2.2mを超える施設 1施設 ③ ブロック塀の高さが1.2mを越えているが、3.4m間隔以内で控え壁を設置していない施設 13施設 ④ ブロック塀に著しい劣化損傷のある施設 8施設 (②~④重複の場合あり)

市は各民間教育施設・保育施設に対し、安全確保の措置を講じるよう依頼しています。